

科目名		看護研究方法論			担当教員名	平河 勝美、清水 史恵、 萩原 邦子、石原 啓之
該当DP	2	単位数	1単位	選択	配当年次	1年次・第1 Semester (前半)
曜日・時限		金曜日・5限目			教室	オンライン授業
授業概要						
看護(医療)安全管理に関連した研究を行うための基本的知識の理解を目指して、研究デザイン、量的アプローチ、質的アプローチ、看護管理学研究などについて概説する。研究課題を捉える着想や思考枠組みが研究方法の選択につながることを踏まえながら、実際の研究事例などを参照して具体的・実際的に研究方法を検討する。						
到達目標						
1) 量的研究について、量的データの特徴、質問紙作成の要点、主要なデータ分析方法を説明できる。 2) 質的研究について、質的データの特徴、インタビューのしかた、データ分析/解釈方法を説明できる。 3) 自らが実施したい研究について、研究計画を考え、模擬研究計画書を用いて表現できる。						
回	日程	見出し	内 容		実践的な 授業方法	
1	4/11	看護研究とは (清水)	(看護)研究とは何か、研究プロセス、リサーチクエスションの立て方、文献検索、研究論文の構成について学ぶ。 [ディスカッション]		○	
2	4/18	量的研究・基礎編 (清水)	研究デザイン、データの収集と分析、研究発表の方法について学ぶ。 [ディスカッション]		○	
3	4/25	量的研究・実践編1 (石原)	量的研究の実践に向けて、量的研究でよく使用される研究デザインおよび質問紙調査・質問項目の構成や作成方法を理解する。 [ディスカッション]		○	
4	5/9	量的研究・実践編2 (石原)	量的研究の実践に向けて、基本的な統計の理論や手法を学ぶ。また、論文の見方を解説する。[ディスカッション]		○	
5	5/16	質的データと質的アプローチ (平河)	言語と意味、言語による抽象/捨象、ナラティブ・アプローチ、ライフストーリー・アプローチについて学ぶ。[ディスカッション]		○	
6	5/23	質的データの収集・解釈 (平河)	質的データの収集、トランスクリプトの作成、語りデータの解釈について具体的に理解する。また、質的論文のクリティークを行う。[ディスカッション]		○	
7	5/30	質的研究方法論 看護管理学研究 (萩原)	看護研究でよく用いられる質的研究方法論について学び、ならびに看護管理学研究について理解する。[ディスカッション]		○	
8	6/6	看護研究方法のまとめ (平河、清水、萩原、 石原)	看護研究における倫理を学ぶ。また、各自のクリニカルクエスションからリサーチクエスションへの整理を行って科目全体を総括する。[ディスカッション]		○	
キーワード		研究デザイン、量的研究、質的研究、研究倫理			履修条件	なし
教材等	教科書(要事前購入)	教科書は特に指定しない。講義で使用する資料は適宜配付する。				
	参考書(任意購入)	講義の中で適宜紹介する。				
成績評価方法(%) [評価のポイント]		①模擬研究計画書の作成(80%) [研究目的にかなった研究方法になっているか、講義中のポイントが反映されているか、など] ②授業中の討論への参加・貢献(20%) [積極性、授業内容との関係性]				
授業時間外に必要な学修		自分の研究テーマに近い文献を読み(1本でもよい)、どういう研究方法で行われているか、なぜその方法が取られているのか、もっと工夫できそうなことや別なアプローチ法がありそうか、などを考えてみてください。				
学生へのメッセージ		本学で取り組む研究課題と研究目的にとって、どのような探求方法を取りうるのか、そのうち妥当なのはどれか、などを考えながら受講してください。看護職以外の人にも参考になる内容です。				

※ 授業の日程については変更する場合があります。